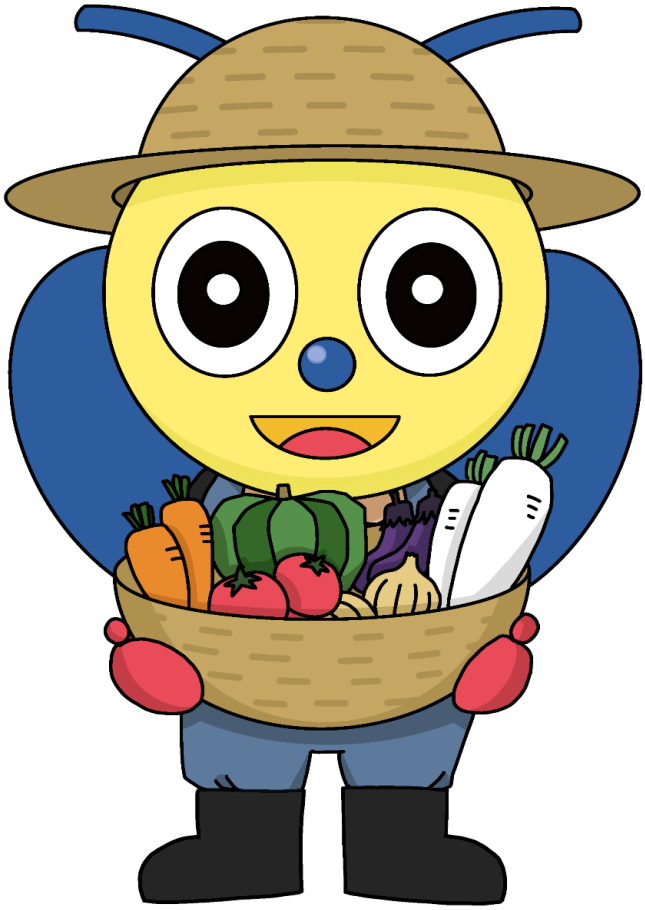
# 阿久比町

# 6次産業化推進戦略



# 目次

１．戦略策定の趣旨　・・・１

２．農林畜産業及び６次産業化等に係る現状と課題　・・・１

３．６次産業化等の取組方針　・・・２

４．６次産業化等推進の成果目標及び方向性　・・・４

５．６次産業化事業者の将来像及び支援策　・・・４

## １．戦略策定の趣旨

農林畜産物の生産（１次産業）者が、食品加工（２次産業)、流通・販売（３次産業）に取り組み、それによって農林畜産業全体を活性化させ、地域の経済を豊かにしていこうとする動きを「６次産業化」といいます。

本町は、安全・安心で新鮮な農林畜産物を安定して提供する魅力ある農業の実現を目指しています。また、ブランド化や６次産業化により農畜産物に付加価値を与え、地産地消を進めるなど、地域特性を生かした農業が盛んなまちを将来像としています。

この戦略は、上記の実現に向け、６次産業化を進める中で、６次産業化事業者等の経営改善及び所得向上のほか、本町の農林畜産業を持続可能な産業として活性化させることを目指し、今後５年間における計画を取りまとめたものです。

## ２．農林畜産業及び６次産業化等に係る現状と課題

（１）現状

本町は、愛知県知多半島のほぼ真ん中に位置し、名古屋市や西三河の主な都市へも３０分程度でアクセス可能な交通の利便性の高いまちです。地形的特徴としては、町中央部を南北に流れる阿久比川やその支流である草木川、福山川、前田川、矢勝川等に沿って平坦地が分布し、その周囲には小高い丘陵地が連なっています。

また、阿久比の土は、栄養素を豊富に含む粘土質で、肥料持ちや水持ちに優れています。この土に温暖な気候が相まって、古くから「米」の産地として知られています。米の他、畜産、露地・施設野菜、花卉、果樹等の栽培が盛んです。

（２）課題

これらの作物に共通して生産者の高齢化や施設の老朽化が進んでいることに加え、資材や燃料等の価格高騰により経営が圧迫されています。こうした現状に対し、後継者の育成、コスト削減・省力化に加え、商品のブランド化や販路の拡大が喫緊の課題であり、６次産業化の推進が求められています。

## ３．６次産業化等の取組方針

### （１）経営等（総合化事業）計画の作成

本町で生産される農林畜産物の加工・直売等に関する取組方針について、６次産業化事業に関する支援制度や町の推進状況等を農林畜産業者及び関係団体に周知を行います。また、国や県と情報共有を図り、事業者等に対する支援策・補助事業を提案します。特に、商品開発やマーケティングに関する専門的指導、「総合化事業計画（※１）」の策定に当たっては、愛知県サポートセンターの専門家（プランナー）派遣事業の活用を推進します。

※１「総合化事業計画」とは、農林畜産業者等が主体となり、作物の生産及びその加工または販売を一体的に行う事業活動・経営内容を定めた計画のことです。この計画について、農林水産大臣の認定を得た６次産業化事業者は、様々な支援策を受けることができます。

### （２）販路の拡大

６次産業化により開発等された商品の販路拡大については、「いいともあいちネットワーク（※２）」の活用や県主催の販促イベントへの参加を促す他、本町としても農業まつりや産業まつりを始めとした農商工観連携の各種イベントを継続して実施することで、地産地消を推進するとともに、販路の拡大・商品ＰＲ・異業種のマッチング等の場を提供します。

※２「いいともあいちネットワーク」とは、県内外の生産者団体からスーパー、飲食店等の流通関係者、そして消費者団体等で構成される会員同士が互いに交流を深め、情報交換をするネットワークのことです。なお、県産農林畜産物の販売や利用に力を入れている店舗（販売店・飲食店）を「いいともあいち推進店」として登録しています。

シンボルマーク→

↑阿久比町農業まつりや産業まつりの様子

（３）適正な食品表示・衛生管理

食品表示については、すべての一般用加工食品等に栄養成分表示、個別の原材料や添加物にアレルゲンの表示が、原則必要です。また、すべての食品等事業者に「HACCP（※３）」に沿った衛生管理が法制化されています。

このため、６次産業化に取り組んでいく事業者や直売所等においても、法令等に基づく適正な食品表示・衛生管理に取り組むよう周知します。

※３「HACCP（ハサップ）」とは、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの要因を除去等するために特に重要な工程を管理し、製品の安全を確保する衛生管理手法のことです。（Hazard Analysis and Critical Control Point）

## ４．６次産業化等推進の成果目標及び方向性

（１）成果目標

令和７年度から令和１１年度までの５年間における成果目標は、次のとおりとします。

| 項目 | 目標値 |
|---|---|
| 総合化事業計画の認定事業者数 | ２件以上 |
| 新商品・サービス等の開発 | １件以上 |
| 直売所・農家レストラン・加工所等の整備 | １件以上 |

（２）方向性

地域の特性を生かし、６次産業化等に取り組む上で重点的に活用を図るべき農林畜産物については、多くの事業者が携わる作物の活用が、地域農林畜産業全体の所得向上に繋がると考えられます。

このため、生産部会等に所属する事業者が栽培する品目を重点的に活用する作物とします。具体的には、「米」、「大豆」、「トマト」、「いちご」、「みかん」、「花卉」、「乳・肉牛」、「鶏卵」などを想定しています。この他、新たな付加価値の創造、産地の活性化やブランド化を目指す作物等についても重点的に活用する作物とします。そして、これらを活用した農家レストラン、直売所、加工所、観光農園等の事業を推進する方向性とします。

## ５．６次産業化事業者の将来像及び支援策

第３項に記載した本町の取組方針に基づき、事業者が国や県と情報共有を図り、商品開発やマーケティング、総合化事業計画の策定に係る専門的指導を受けること等を促します。また、農商工観連携等の場への積極的参加を勧奨します。

上記の他、町広報・web ページ等による６次産業化に係る周知、資材や燃料等の価格高騰に対する補助といった事業者に対する町独自の支援を行い、将来的な経営の持続をサポートし、地域の活性化に繋げることを目指します。

「阿久比町６次産業化推進戦略」

初版：令和７年８月

担当：阿久比町建設経済部産業観光課